

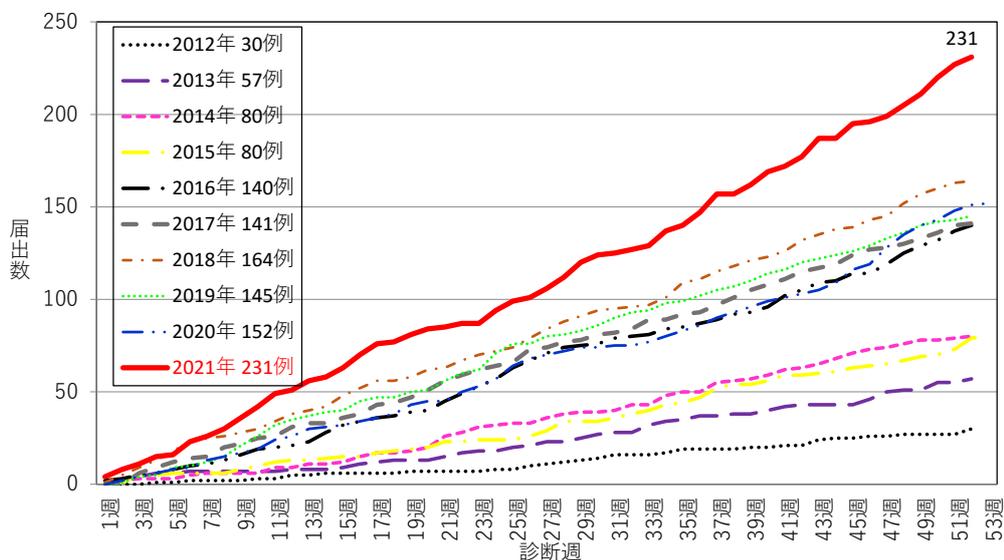
千葉県の梅毒発生状況 2021年52週

千葉県では、2021年51週に7例、52週に4例の届出があり、2021年の累計は231例となった。これまで1999年の現行感染症サーベイランス開始以降、最多であった2018年の164例を40週の時点で上回り、その後過去最多の届出数を更新し続けている。性別では男性が多い傾向があり、年齢群別では男女ともに20代～40代の若年層の患者が多い傾向があるが、分布には性差が認められた。病型別では早期顕症梅毒Ⅰ期とⅡ期の患者が約7割を占めているが、女性では無症状病原体保有者の割合が男性に比べ多かった。保健所管内別では届出が多かったのは千葉市(47例)、船橋市(31例)、松戸(28例)保健所管内であった。

全国においても患者数の報告が多くなっており、2021年50週は計138例が届出られ、2021年の累計は7528例となり、1999年の現行感染症サーベイランス開始以降、最も多くなっている。東京都、大阪府、愛知県、福岡県、神奈川県等大都市を有し、人口規模の大きい自治体で多く報告されている。

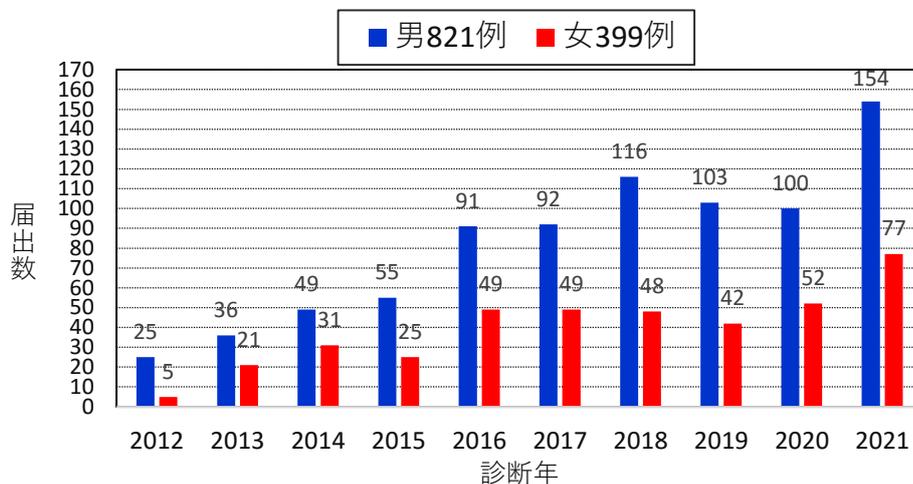
1. 届出状況

2012年～2021年52週千葉県の梅毒年別累積届出数 (N=1220)



2. 診断年別性別届出数

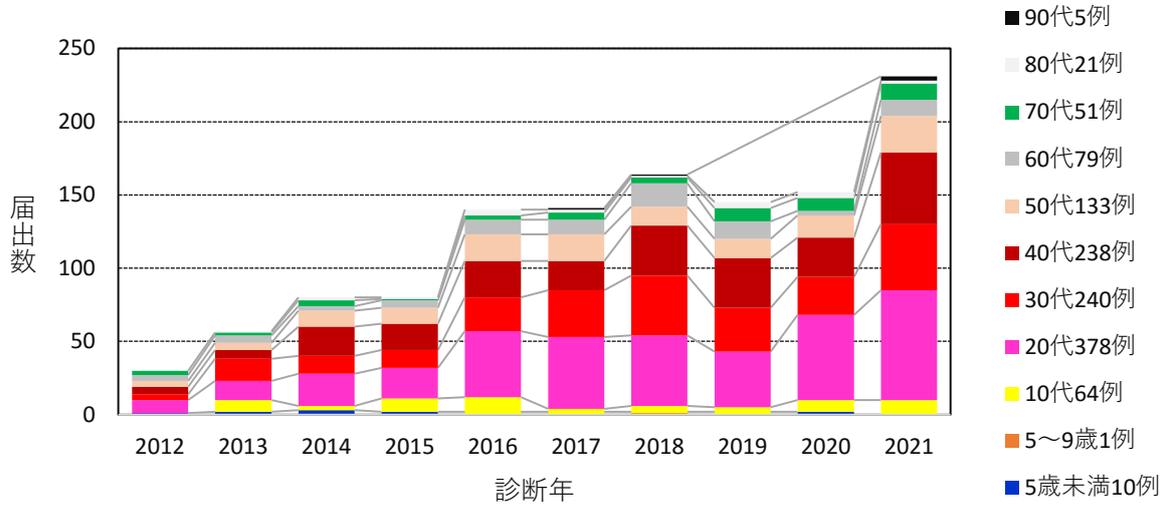
千葉県の各診断年における梅毒男女別届出数 (N=1220)



3. 診断年別年齢群別届出数

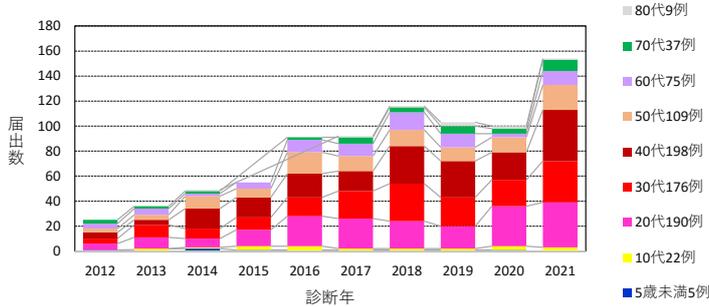
①全体

千葉県各診断年における梅毒年齢群別届出数 (N=1220)

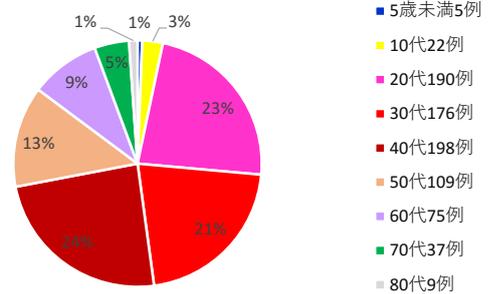


②男性

千葉県各診断年における梅毒年齢群別届出数 (N=821) 【男】

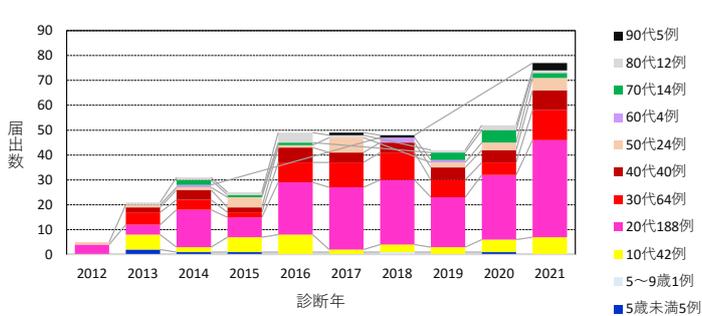


2012-2021年梅毒症例年齢群ごとの割合【男】

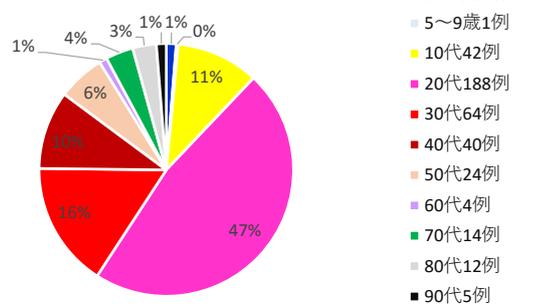


③女性

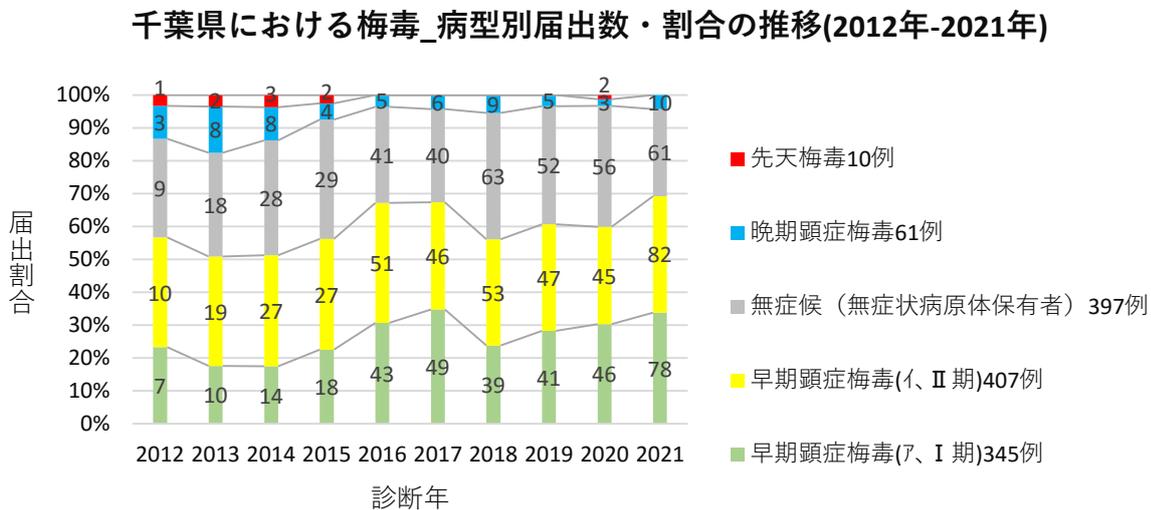
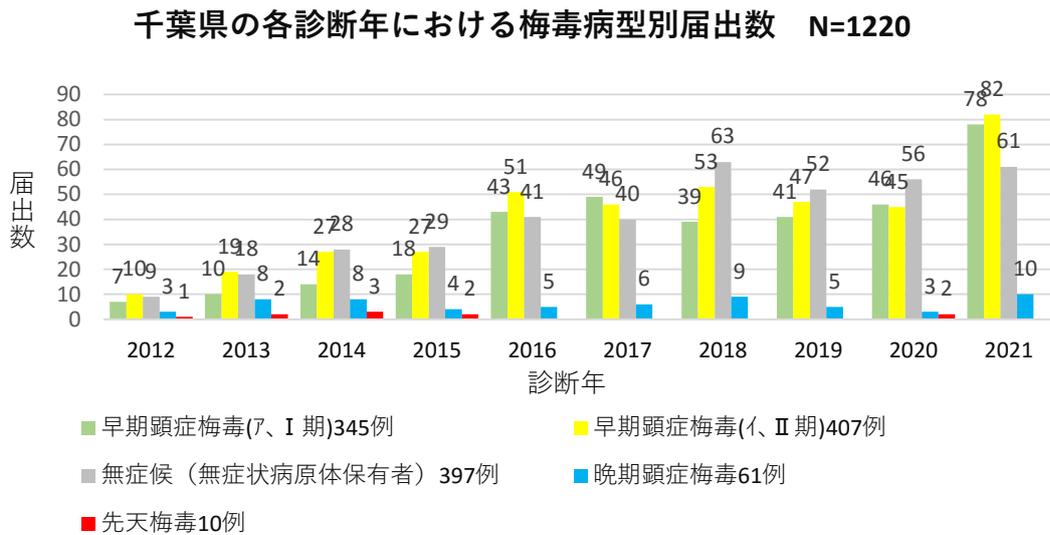
千葉県各診断年における梅毒年齢群別届出数 (N=399) 【女】



2012-2021年梅毒症例年齢群ごとの割合【女】

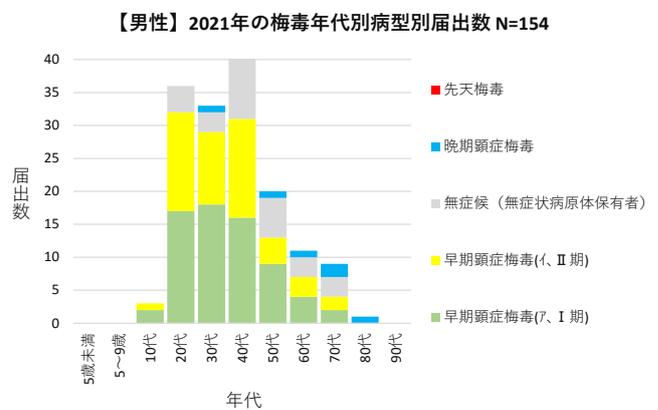
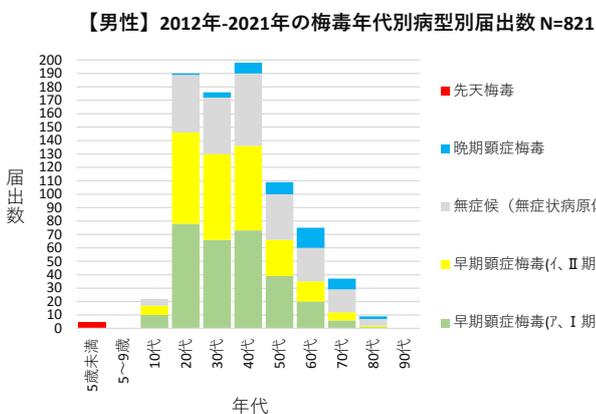


4. 診断年別病型別届出数

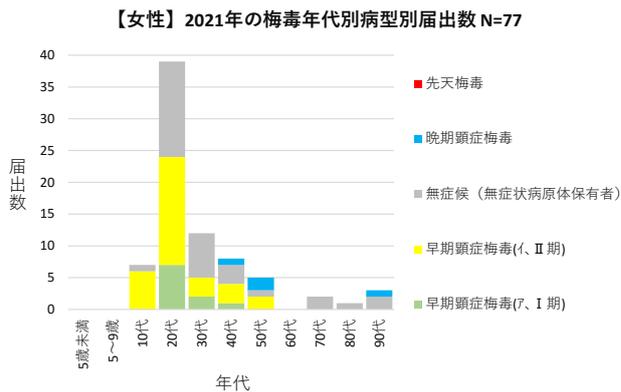
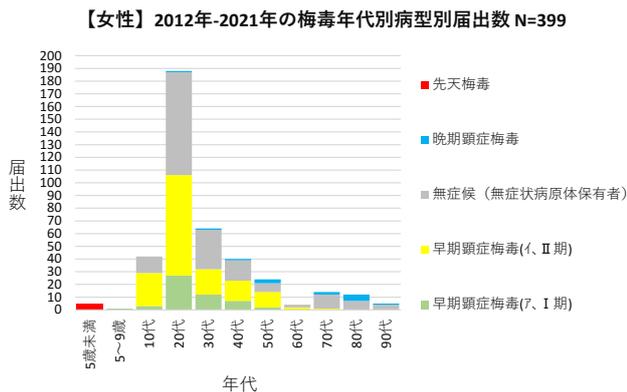


5. 年代別病型別届出数

①男性



②女性



6. 診断年別保健所別届出数

2012年～2021年52週 千葉県 の梅毒 年別・保健所別届出数

保健所	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	合計
習志野	1	4	6	7	8	14	13	16	16	24	109
市川	3	5	9	16	16	15	23	13	15	11	126
松戸	5	8	7	7	28	18	27	30	25	28	183
野田	0	0	3	1	2	2	1	0	2	2	13
印旛	3	1	8	5	10	12	11	9	9	27	95
香取	0	1	3	0	1	0	2	0	1	0	8
海匝	3	0	3	5	1	0	4	2	3	7	28
山武	0	3	0	1	2	3	3	0	5	2	19
長生	0	0	0	1	0	0	3	1	1	1	7
夷隅	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	4
安房	1	4	5	2	6	0	5	2	2	7	34
君津	1	2	1	4	4	4	9	4	2	10	41
市原	1	4	4	3	4	8	6	6	4	10	50
千葉市	8	15	15	13	29	33	23	34	25	47	242
船橋市	0	1	10	8	15	15	17	14	21	31	132
柏市	3	9	6	7	12	17	17	14	21	23	129
合計	30	57	80	80	140	141	164	145	152	231	1220